

「地域発 元気づくり支援金」平成25年度事業に係るフォローアップ調査

取組事例一覧

地方事務所	タイトル	団体名
佐久	佐久穂町 食・特産品開発事業「みんなで創る美味しい未来のふるさと」	一般社団法人 アンテナさくほ（佐久穂町）
上小	ウイスキー&ビアキャンプ長和町2015	ウイスキー&ビアキャンプ実行委員会（長和町）
諏訪	農産物ブランド化による地域活性（ひざわもろこし発信プロジェクト事業）	樋沢高冷地農業活性化組合（岡谷市）
上伊那	伊那発！完全地産・製造業ご当地お土産プロジェクト地域活性化推進事業	伊那発！製造業ご当地お土産プロジェクトチーム（伊那市）
下伊那	地域の女性たちによる農産物の特産品づくり	天龍村ジャムおばさんの会（天龍村）
木曾	木曾川の源流を、住民主体の元気で活力ある里に	NPO法人 木曾川・水の始発駅（木祖村）
松本	松本らしい、子育て・孫育て世代の遊び場づくり	松本わらべ館設立準備室（松本市）
北安曇	障がい者も一緒に里山トレッキング	特定非営利活動法人 Mt.on trail club（白馬村）
長野	子どもの読書活動の推進	須坂市子ども読書活動支援研究会（須坂市）
北信	続・温井里山活性化事業	温井むらづくり委員会（飯山市）

元気づくり支援金を効果的に活用し、その後も発展的に事業を継続している団体等の皆様から、最近の活動内容や今後の事業展望等についてお伺いしました。

地域づくり活動の参考となるような取組を各地域から報告いただいています。

佐久穂町食・特産品開発事業「みんなで創る美味しい未来のふるさと」 (一般社団法人アンテナさくほ)

団体紹介（私たちが目指しているもの）

信州北八ヶ岳山麓・千曲川上流域に広がる森や川、田畑からの恵みを受ける佐久穂町の生産者、調理者、製造者、販売者そして美味しく健康的な食生活を実践する生活者をつなぎ、互いに協力し「美味しい未来のふるさと」を創ることを通じ、住む人や訪れる人々を幸せにし、佐久穂町と日本を元気にすることを目指している。

設立当初は任意団体であったが、平成28年6月に「一般社団法人アンテナさくほ」を設立した。

地域発 元気づくり支援金の活用状況

活用年度	事業名	事業概要	支援金額
H23	「佐久穂・みんなで創る美味しい里山」事業	・料理アイデアコンテストの実施 ・調理専門家にメニュー開発依頼 ・グルメ新聞「町民キッチン」の発行 等	2,585 千円
H24	佐久穂町食・特産品開発事業「みんなで創る美味しい未来のふるさと」	・チャレンジレストラン「町民キッチン」の実施 ・グルメ新聞「町民キッチン」2回発行 ・町産米を原料に開発された「さくほ一めん」のレシピを募集し、メニュー化 等	2,370 千円
H25	佐久穂町食・特産品開発事業「みんなで創る美味しい未来のふるさと」	・チャレンジレストランの通年店舗オープン ・「さくほの恵みギフト」の販売、商材追加 ・グルメ新聞「町民キッチン」ホームページ版の公開 等	3,000 千円

最近の活動内容

レストラン、ギフトセット、農産物直売所等を基盤として食・特産品の開発・振興事業を継続しており、ネットショップの立ち上げも予定している。

ウェブサイトやSNS等で、地元のマルシェへの参加、地域のお祭りなどに情報を継続発信しており、TV番組にも取り上げられた。

関連事業として「村の達人たちと里山体験！さくほジバ共和国」の運営を行っている。四季を通じて里山・農業体験などを実施して好評を博している。



【11品から選べる町の特産品
カタログギフト・さくほの恵み】

取組の効果

町民キッチン協賛店では支援金で開発したメニューを定番化して提供しており、「実際に食べられる場」となっている。

ジュース、ジャム等のグッズと果物等の生鮮品を組み合わせで構成したカタログギフトセットを町農産物直売所で販売しているとともふるさと納税の謝礼品にも利用され、町のPRツールになっている。

町の一次産品の生産者や加工者、販売者、飲食店の「若い人々の自立的な活動」が見られるようになった。



【町民キッチン協賛店のメニュー、
信州サーモン・プルーン丼（夏季限定）】

課題、今後の事業展開など

複数年を見通した事業構想力と実行力で、これからも佐久穂町の特産品を提供し、地域に留まらず全国的な発信・商品の継続的なマーケティングに力を入れていく。

団体名：一般社団法人アンテナさくほ
(佐久穂町)
ホームページ
<http://chomin-kitchen.jp>

ウイスキー&ビアキャンプ長和町 2015 (ウイスキー&ビアキャンプ実行委員会)

団体紹介（私たちが目指しているもの）

長和町では、観光客・宿泊客の減少が課題になっている。これまで自然を活かしたトレイルラン事業や中山道に代表される歴史文化を活かした企画など様々な形で観光振興を行ってきたが、オリジナリティのあるイベントという部分では企画造成、訴求力に未熟な面があった。

このことから、信州・長和町観光協会を中心に実行委員会を立ち上げ、長和町ならではのオンリーワンのイベントを企画することで、従来のお客様に向けて新たな魅力をPRするとともに、新規顧客を開拓し、新たな長和町のファンを獲得するため、内外に向けてPRすることとした。

地域発 元気づくり支援金の活用状況

活用年度	事業名	事業概要	支援金額
H25	アウトドア・ウイスキーフェスティバル in 長和町	町の魅力発信、誘客及びグリーンシーズンのスキー場の活用を図るため、「アウトドア・ウイスキーフェスティバル」を2日間にわたり開催した。	1,800 千円
H26	ウイスキー&ビアキャンプ長和町 2014	前年度に引き続き、「ウイスキー&ビアキャンプ長和町 2014」(WBC)を開催するとともに、後夜祭を企画し、地域住民との交流促進を図った。	2,309 千円
H27	ウイスキー&ビアキャンプ長和町 2015	一定数のリピーターもおり、WBC が長和町オリジナルのイベントとして定着してきた。新たにキャンピングカーサイト、バーベキューエリアの設置を試みた。	2,879 千円

最近の活動内容

ウイスキー評論家・土屋守氏、ビール評論家・藤原ヒロユキ氏をプロデューサーに迎え、6回目となる野外ウイスキー(&ビール)イベントを開催した(H28.8.27~28)。今年度は、例年8月末に黒耀石体験ミュージアムにて開催されている「黒耀石のふるさと祭り」と同時開催とし、相乗効果を狙った。

両日とも悪天候(初日/雨、二日目/濃霧)ではあったものの、過去最高の動員(1,300名)となり、ウイスキー・ビールとともに地域の特産品等を楽しむイベントとして定着してきている。

出展数も過去最大(45店舗)となった。例年開催していたイベント内イベント「ながわマルシェ」に代わり、町内企業店舗による独自出展とすることで、各店舗による積極的なPRを促した。



【ウイスキー&ビアキャンプ長和町 2016】

取組の効果

過去最高の来場者数となり、グリーンシーズンの集客に一定の効果が出ている。長和町の特色あるイベントとして、町内外から注目されていることから、町の魅力を積極的にPRできるイベントとして次年度以降も継続的に開催していく。

課題、今後の事業展開など

町内施設を有効活用できるイベントを目指すとともに、可能な限り、無理なくコントロールできる範囲で開催していけるよう、会場や時期、実行委員会の体制づくりを強化していきたい。

団体名：ウイスキー&ビアキャンプ実行委員会（長和町）
ホームページ <http://wbc.nagawa.info/>

農産物ブランド化による地域活性（ひざわもろこし発信プロジェクト事業） （樋沢高冷地農業活性化組合）

団体紹介（私たちが目指しているもの）

岡谷市樋沢地区は畜産を中心とした農業が盛んな地区であったが、現在は地区の気候に合った高冷地野菜、花き等を中心とした農業が行われている。中でも標高 1000mの地理を生かし昼夜の寒暖の差によって栽培されるみずみずしく甘いとうもろこしは、「ゆめあかり」というブランドで人気を集め、生でも食べられるとのPRも功を奏し近隣の市町にも知られるようになってきている。

現在、樋沢地区公会所前での朝市、市内のスーパーを中心に販売しており、リピーターも多く、全国各地の親戚、友達、知り合いなどへの発送依頼も多い。

当事業は地産地消を基本に活動を行ってきたが、全国への更なる販売網の開拓や6次産業化も視野に入れ、平成 25 年より事業を継続している。

地域発 元気づくり支援金の活用状況

活用年度	事業名	事業概要	支援金額
H25	ひざわもろこし発信プロジェクト	PR用チラシの作成、出荷用の段ボールの作成および生ごみのリサイクル堆肥の使用等	465 千円

最近の活動内容

- ・とうもろこしの最盛期（8月）に地区公会所前で朝市を開催
- ・岡谷市内の保育園園児の収穫体験
- ・岡谷市農業祭への参加
- ・市内小中学校への納入
- ・岡谷市のふるさと納税返礼品として登録
- ・品質向上のための土づくり勉強会への参加
- ・東京での農産物マルシェへの出店



【 公会所前での朝市の様子 】

取組の効果

- ・子供たちが家庭でひざわもろこしの会話をしてくれるため家族で当地を訪れるようになった。
- ・県外客からの評判が高く、知り合いへの贈り物として選ばれるようになった。



【 保育園児の種蒔 】

課題、今後の事業展開など

- ・農産物の品質は天候に大きく左右されるため、品質の維持は大きな課題。規格外のとうもろこしも多く発生するため、6次産業化も含め農産物のロスを少なくすることが必要である。

団体名：樋沢高冷地農業活性化組合
電 話：0266-22-5370

伊那発！完全地産・製造業ご当地お土産プロジェクト 地域活性化推進事業 (伊那発！製造業ご当地お土産プロジェクトチーム)

団体紹介（私たちが目指しているもの）

伊那の観光地にちなむ「お土産」を、伊那の製造業、社会福祉法人、商工団体等、地域のものづくりに係わる人々の手で「完全地産」により製造し、販売をする「製造業ご当地お土産プロジェクト」を実施している。

この活動をさらに発展させ、企画段階から多くの地域住民と関わり、意見交換をしながら、設計・製造・組み立て・販売を「完全地産」の形で確立することで、地域経済の活性化と新産業の創出、障がい者や若者の雇用促進を目指す。

地域発 元気づくり支援金の活用状況

活用年度	事業名	事業概要	支援金額
H25	伊那発！完全地産・製造業ご当地お土産プロジェクト 地域活性化推進事業	地域経済の活性化及び新産業の創出、障がい者・若者の雇用促進を図るため、地域内完全地産の「ご当地お土産」の開発を市民協働で実施した。	3,440 千円

最近の活動内容

- ・ご当地お土産シンポジウムの開催
- ・地元中学生と協働した製品開発
- ・商店街の空き店舗を利用した内職ワークスペースの運営
- ・ご当地お土産の新商品開発と子どもたちを対象にしたものづくりイベントの開催
- ・地域に需要を呼び込むための地域外への展示会出展及び活動PR
- ・オリジナル治具の開発による作業負担の軽減と誰もが気軽にものづくりができる環境づくり



【内職ワークスペース】

取組の効果

- ・内職ワークスペース利用状況
家内労働者登録 約 120 名
1日平均 8名～10名が作業
商店街の空き店舗に30～40名が行き来するようになる
- ・新商品の開発等、新しい地元活性化型ものづくりへのチャレンジ
- ・未来を担う子どもたちのものづくりを通じた郷土愛の醸成



【ご当地お土産組立イベント】

課題、今後の事業展開など

- ・これまでの実績を踏まえ、オリジナル商品等の更なる商品開発。
- ・ご当地お土産プロジェクトによる伊那ブランドのものづくりの普及推進と地元から仕事を作り、地域を活性化させる持続的、循環的な取り組みの確立

団体名：伊那発！製造業ご当地お土産
プロジェクトチーム（伊那市）
電話：0265-73-6033
ホームページ <http://kanzenchisan.com/>
メールアドレス hashizume@swany-ina.com

地域の女性たちによる農産物の特産品づくり (天龍村ジャムおばさんの会)

団体紹介（私たちが目指しているもの）

天龍村ジャムおばさんの会は、天龍村の再活性化を目指し、村内の女性有志を中心に平成 24 年 4 月に設立。村内の果実・野菜を加工した特産品の開発や PR 活動を中心に取り組んでいる。

現在は、地元企業「天龍農林業公社」と連携して会の活動を継続している。活動の中で、地域へ嫁いできた若手女性を勧誘し、協力者を確保することで担い手の育成を図りながら、交流の場の創出や地場産業の活性化へと結びつけている。

地域発 元気づくり支援金の活用状況

天龍村では温暖な気候を活かした柚子や小梅の栽培が盛んである。これまで農家の担い手不足等により収穫放棄されていた果実があったことから、これらを加工し有効に活用するため、柚子マーマレード、干し柚子、梅ソースの商品化に取り組んだ。

また、規格外のため廃棄されている伝統野菜「ていざなす」を活用し、蒸しなす、焼きなすに加工して販売に繋げた。

活用年度	事業名	事業概要	支援金額
H25	天龍再生 ガンバルおばさんプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域特産果実の加工製造事業 (マルチスライサー、袋詰用シーラーの購入) ・ 伝統野菜「ていざなす」の加工品開発事業 (オーブンの購入) 	810 千円

最近の活動内容

元気づくり支援金事業により開発した「柚子マーマレード」の製造ノウハウを活かして、ブルーベリーや梅のジャムを新たに開発した。どれも天然の食材にこだわった自慢の商品に仕上がりがり、最も力を入れて取り組んでいる。

干し柚子も女性や高齢者等からのニーズがあるため、製造を続けている。これらの商品は「天龍農林業公社」へ販売委託し、連携した広報活動やインターネット販売、イベント出店等を行っている。

また、規格外のていざなすについては、主に南信州の飲食店へ調理した状態で出荷し、季節の一品料理として好評を得ている。



【マーマレード、ジャム製品】

取組の効果

活動を継続する中で、主力商品が出来上がるとともに、毎年一定数の製造ができるようになった。

- ・ 柚子マーマレード 約 2,500 本/年
- ・ 柚子の香りとブルーベリー 約 1,000 本/年
- ・ 梅ジャム 約 1,000 本/年

また、地域の女性の雇用・交流の場となっている。



【選果作業】

課題、今後の事業展開など

天龍農林業公社と連携し、販路を拡大していく。無添加にこだわった製品の品質を維持しながら、より購入者が手に取りやすくなるような PR の方法も検討している。

主力の柚子マーマレードには、まだまだ売上の伸びしろを感じており、販売増加に期待を懸けている。

当面、新たな商品開発は未定だが、引き続き、女性の雇用・交流の場となるよう、今後も活動を継続する。

団体名：天龍村ジャムおばさんの会
(天龍村)
電話：0260-32-1160
ホームページ
<http://www.tenryu-nourin.com/>
(天龍農林業公社)

木曽川源流の里を、住民主体の元気で活力ある里に (NPO法人 木曽川・水の始発駅)

団体紹介（私たちが目指しているもの）

主として木祖村の木曽川源流としての立地条件、街道を中心とした歴史・文化、山村特有の豊かな森林環境・自然・観光資源などを活用し、木祖村や各団体が進める木曽川の上下流交流事業の支援、木曽川に関わる河川環境や森林環境の整備、地域の自然資源・観光資源を活用した観光案内・体験イベント、教育的活動、風土の特徴を活かした食に関する商品開発・販売などの事業を行なっている。また、地域住民が主体となって活動している団体等との情報交換・連携を密にして助言・支援を行ない、住民参加型の新たな山村地域ビジネスを開発・展開して、地域の活性化を図り、魅力ある地域の創造と地域の利益の増進に寄与する。

地域発 元気づくり支援金の活用状況

活用年度	事業名	事業概要	支援金額
H23	鳥居峠景観等整備事業	階段の補修等の景観整備を行うことにより、鳥居峠を訪れる観光客の満足度を高め、観光の振興を図る。	394 千円
H25	しょくあんプロジェクト（食に関する加工施設増強工事）	地元の女性加工グループが、観光客や地元の高齢者に郷土料理を提供するため、現在菓子類を製造している「食の塩梅」において、惣菜類の加工施設を増設する。	2,795 千円
H25	「使って・作って・遊んで・学ぶ」間伐材木育推進事業	地元NPOと木曽の木工業者が協働して開催。郡内小学校等での糸ノコおもちゃ教室や郡内の保育園・小学校、スキー場屋内キッズスペースなどに間伐材で作った積木を貸し出し。	333 千円

最近の活動内容

- 地域の自然資源・観光資源を活用した観光案内・体験イベント・教育的活動
(水木沢天然林、中山道藪原宿・鳥居峠 等)
- 木曽川の河川環境や森林環境の整備
- 風土の特徴を活かした食に関する商品開発・販売
- 木祖村や各団体が進める木曽川の上下流交流事業の支援



【根強い人気のそば実かりんとう】

取組の効果

- 木曽川環境整備には、村民がボランティアで草刈りに参加したり、多くの村民が協力し合い、「村を花でいっぱいにしよう」という活動が根付いている。
- 木祖村をPRする観光資源や商品の開発が加速するなど、村民の心の中に「自立した村にしたい」とする思いが、感じられるようになった。
- 木曽川下流域の人たちに、「水がめ」ともなる森林資源の保護・保全が大切であることへの理解が広がっている。



【きれいな木曽川を未来へ】

課題、今後の事業展開など

木曽川源流の里の元気で、新しい魅力を創造するために、地域の自然や文化を守り、活かし、そしてともに学びあいながら、多くの人にそのすばらしさを伝える活動を続けていく。

団体名：NPO法人 木曽川・水の始発駅
(木祖村)

電話：0264-36-2772

ホームページ <http://www.482eki.com>

松本らしい、子育て・孫育て世代の遊び場づくり (松本わらべ館設立準備室)

団体紹介 (私たちが目指しているもの)

松本わらべ館設立準備室では、「松本らしい、子育て・孫育て世代の遊び場」づくりを目指しており、以下の3つのことを大切にしている。

- ①子どもたちに、健全で、創造的な遊びを提供する場
- ②おじいちゃんも活躍できる、多世代つながりの場
- ③松本らしい、ものづくり、手しごと体験の場

地域発 元気づくり支援金の活用状況

支援金により、団体立ち上げ時に必要なモノ（会場費、木のおもちゃ、広報用 Web サイト、料理用備品）を早期に賄うことができ、5年経過した現在もそれを引き続き大切に活用している。

活用年度	事業名	事業概要	支援金額
H24	子育て・孫育て応援 多世代・創造的遊びを実践する事業	1 森のおもちゃ館 2 おもちゃの病院 3 手づくり体験 4 出張わらべ館	170千円
H25	同上	同上	317千円

最近の活動内容

- 1 森のおもちゃ館 = 良質な木のおもちゃで遊んでもらう場
- 2 おもちゃの病院 = おもちゃの無償修理
- 3 手づくり遊び工房 = 手しごとや料理体験の場
- 4 出張わらべ館 = 良質な木のおもちゃで遊べる場の出前

上記4つは、活動の柱としてこの5年間同じであるが、最近では

◆たき火を使った料理体験メニューの拡充

◆シニア向けの人気体験メニューの開発

など、親子連れだけに限らず、より幅広い客層から親しまれるよう工夫中。0歳から最高齢70代後半の固定客を開拓済み。



【老若女子に大人気
松本産朝摘み藍の叩き染め体験】

取組の効果

事業を継続することにより、松本市福祉ひろばへのおもちゃ館の出前の受注が増えた。(当初0件/年→最大5件/年) また、地域づくりに熱心に取り組んでいる市内の地域づくりセンターや民間企業、町会の方との連携が進み、わらべ館を本格的に建設開業する準備を進める段階に入っている。

課題、今後の事業展開など

◆今後の事業展開

里山活性化事業を行っている地域と連携しながら、森の中に本格的な森のおもちゃ館&里山手しごと体験館を建設し、(空き屋の再活用を検討中) 事業化を計画中である。

◆課題

地域で処分に困っている空き屋の再活用を検討中だが、市街化調整区域の線引きや、建築基準法など法や規制のハードルが高く難航中である。改装費用など資金調達も課題である。



【藍染の力作が風になびく軒先】

団体名：松本わらべ館設立準備室

電話：090-8854-3935

メールアドレス

rumisan19711015@yahoo.co.jp

障がい者も一緒に里山トレッキング (特定非営利活動法人 Mt.on trail club)

団体紹介（私たちが目指しているもの）

北アルプスの美しい景色の中で、「誰もが楽しくスポーツをできる環境づくり」と「誰もが気軽に自然と触れ合える環境づくり」を目指している。

自ら動くことによって「風を感じる」ことは当たり前のことで気づきにくい事であるが、実はこれがとても心地が良い。スポーツをあまりしない方や歩行困難な方々にも、風を正面からカラダに感じてほしいとの思いから「トレラン大会」の開催、「トレイルライダー」の活動を行っている。

地域発 元気づくり支援金の活用状況

○障がい者も山野のトレッキングができる特色ある観光地づくりを目指し、専用の器具「トレイルライダー」を購入することにより、今まで白馬村にはなかった、歩行困難者が気軽に自然と触れ合うことができる体制を整備することができた。

活用年度	事業名	事業概要	支援金額
H25	障がい者も一緒に里山トレッキング	日本では先駆的な「トレイルライダー」を購入し、障がい者のトレッキングをサポートする取組を行った。	496千円

最近の活動内容

- トレイルライダーの利用にあたっては、賛助会員登録をしてもらい、グリーンシーズンの有効期間内であれば、複数回の利用を可能とすることで、繰り返し楽しんでもらえるよう工夫をしている。
- トレラン大会などのイベント時には、トレイルライダーを持ち込み、PR活動をしている。



【トレイルライダーで散策 1】

取組の効果

- クラブスタッフは各々に仕事をしているため、当初トレイルライダーは完全予約制としていた。現在は、地元企業の協力により、一部施設において、予約なしでの利用が可能となった。
- 地道な取組によりトレイルライダーの認知度は年々高まっており、リピーターも増えている。



【トレイルライダーで散策 2】

課題、今後の事業展開など

- 天気や季節に合ったコースを利用者に提供するため、トレイルライダーの活動エリアを開拓していく。
- 受け入れる側の施設関係者に障がい者トレッキングへの理解を深めてもらうためのPR活動を強化していく。
- ボランティアスタッフの増員と、技術の向上が必要。

団体名：特定非営利活動法人
Mt.on trail club（白馬村）
ホームページ
<http://mt-on-trail-club.jimdo.com/>

子どもの読書活動の推進 (須坂市子ども読書活動支援研究会)

団体紹介（私たちが目指しているもの）

子どもたちの読書活動環境及び読書力の向上を図り、感性と表現力を磨き、人とつながる力を高めるための支援を行うことを目的として活動している。

須坂市が子ども読書推進計画を進めるにあたり、読み聞かせ団体に意見を聞いた際に集まった団体代表者を構成員として会を設立し、活動を開始した。

具体的には、幼保育園・小中学校・図書館等での読み聞かせ、市内イベントでの読み聞かせ、読み聞かせスキルアップのための講演会、勉強会などを行っている。

地域発 元気づくり支援金の活用状況

「脱走ペンギン」や「カピバラの温泉」などで注目を浴びた須坂市動物園の動物たちが題材のカルタや絵本を地元高校生やボランティアと協働して製作した。

読み聞かせや伝統行事としてのカルタ取りが行われることにより、文化活動の促進や家族・地域住民のコミュニケーションが図れただけでなく、須坂の地域資源である動物園の魅力を発信することになり、須坂市の知名度向上、住民の地域愛醸成にもつながった。

活用年度	事業名	事業概要	支援金額
H25	須坂市動物園のカルタ製作活用事業	須坂市の魅力発信及び地域の文化力の向上を図るため、住民からの公募と高校生との協働による須坂市動物園にちなんだカルタの製作。	383 千円
H26	須坂市動物園の絵本製作活用事業	須坂市動物園の動物による絵本を市民参加により製作し、保育園等の公共施設に設置し、読み聞かせ等に活用。動物園等でも販売。	729 千円

最近の活動内容

定例会を毎月開催し、構成団体の活動状況等について情報交換。

読み聞かせの普及や、読み聞かせスキルアップのための講演会も開催している。

取組の効果

読み聞かせを行う団体同士のネットワークを築くこと等により、子どもの読書活動環境を整える一助になっている。

また、読み聞かせ活動は、家族や地域住民間のコミュニケーションを促進することにもつながっている。

課題、今後の事業展開など

基金の活用や文化団体と連携を図るなどして、地道に活動を継続させていく。



【読み聞かせ活動】

団体名：須坂市子ども読書活動支援研究会
(須坂市)

電話：026-245-1400

ホームページ

<http://www.city.suzaka.nagano.jp/enjoy/gakusyu/dokusyokeikaku/shienkenkyukai/>

続・温井里山活性化事業（温井むらづくり委員会）

団体紹介（私たちが目指しているもの）

長野県と新潟県の県境、飯山市の北東に位置する集落・温井（ぬくい）は日本でも有数の広大なブナ林・なべくら高原の入口にあり、多い年には4mの雪が積もる豪雪地である。約80戸180人の住民のうち約半数が高齢者で、限界集落への不安を抱える小さな集落だが、四季の移り変わりを肌で感じられる自然に魅力を感じた集落外からの移住者も多く、女性が中心となって「おんなしよ」の視点で地域の活性化に取り組んでいる元気な「むら」である。

地域発 元気づくり支援金の活用状況

平成22年には農産物直売所を建て替え、区民が総出で農産物直売所周辺と地区の道路（みゆき野ライン）の花植えと管理を実施した。直売所では、地区の新鮮な野菜を販売することで生産者と消費者の交流が生まれている。また、地元の高校の協力により特産品としてコケ玉「森彦」を開発・販売するとともに、温井みどころマップを制作し、直売所と温井地区の魅力を発信している。

平成27年には直売所を利用する観光客等からの要望に応え、集落内の空き寺（大応寺）を「カフェ」として改修し、ヨガなどのイベントに合わせて軽食を提供した。

活用年度	事業名	事業概要	支援金額
H22	温井里山活性化事業	・みどころマップ印刷（120千円）、植栽（59千円）、 ・直売所設置費（1,577千円）	1,756千円
H27	続・温井里山活性化事業	・厨房設備（499千円）、お堂改修（680千円） ・ヨガ等講師謝金（15千円）	917千円

最近の活動内容

○直売所は「ぬくい自由きままな仲間市」と名づけ、スイカやアスパラガスなど地域自慢の農産物で規格外のものを中心に低価格で販売している。10月までの毎週土日・祝日、お盆のみの営業だが、信越トレイルの拠点「なべくら高原・森の家」への観光客を中心に多くの方に利用していただいている。

○稲わらを使った冬の手仕事を復活させ、地域のお年寄を中心に特産品化に取り組んでおり、ストラップ等アクセサリとして人気が出てきている。

○お堂を改修し、ヨガやわら細工のイベントを開催、地元産の野菜や米粉を使ったピザなどを提供した。



【 集落カフェ 】

取組の効果

○平成28年度にはカフェ「ギャルリかざはな in 大応寺」を毎月第2金曜日にオープン。「なべくら高原・森の家」との連携により集落の第2の交流拠点となりつつある。また、集落の茶道サークルの拠点としても活用し、集落内の活性化を図っている。

○大応寺の裏にはブナの木が生い茂り、老杉の残る大門など癒しの場所としての価値も認識されている。

課題、今後の事業展開など

○温井むらづくり委員会では、集落に住むすべての人がそれぞれに関われる活動を中心に考えている。集落のお年寄が喜び、元気であることが、集落外の人々を引き寄せ、活性化に繋がるという思いで活動している。

団体名：温井村づくり委員会（飯山市）
電話：0269-69-2773



【 わら細工のストラップ 】